

# 令和元年度事業報告および決算

学校法人福岡学園の事業報告および決算が、6月16日開催の理事会、評議員会で承認されました。その概要は次のとおりです。

## 令和元年度(第48期)事業報告

### 1. 「口腔医学の学問体系の確立・育成」について

戦略的大学連携支援事業「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」(文部科学省選定、助成期間平成20年~22年を含む10年間継続)で蓄積した授業内容に基づいた歯科大学独自の「医歯学連携演習」を実施しました。

また、口腔医学の創設・育成を推進するため平成27年度に創設された「田中健蔵基金」による第4回目の事業として、「田中健蔵記念文庫」を創設し、新書358冊を購入しました。

### 2. 教育の改善・充実等について

- 平成25年度からの継続事業である「私立大学等改革総合支援事業」(文部科学省及び日本私立学校振興・共済事業団が共同実施)において、歯科大学は特色ある教授・学習方法の展開を通じた教育機能の強化が実践されている大学として、タイプ1「特色ある教育の展開」に採択されたほか、個々の大学が地域の経済・社会、雇用、文化の発展に寄与する取り組みが実践されている大学として、「福岡未来創造プラットフォーム」に参画する歯科大学がタイプ3の「地域社会への貢献」に採択されました。
- 歯科大学、短期大学ともに平成26年度に採択され、最終年度を迎えた「大学教育再生加速プログラム(AP)」(文部科学省実施)について、歯科大学はアウトカム基盤型教育を推進し、取り組み成果をシンポジウム等で学内外に発信したほか、学修成果の評価の方針(アセスメント・ポリシー)に基づき、教育活動の検証・改善を実施しました。短期大学はアクティブ・ラーニングの促進、汎用的能力の可視化等への取り組み成果を外部評価委員会に報告し、外部委員からの意見をもとに、授業改善に繋げました。
- 歯科大学では、「横断統合演習」をより広範囲の学力定着を図る目的で「総合学力試験」へ変更したほか、通年科目を前期完結科目、後期完結科目に分割し、教育効果を高める仕組みへ変更しました。また、共用試験について、「基礎臨床統合演習」の時間数を拡大したほか、高い意識で学習することを目的に、再試験の合格基準を本試験と同じ合格基準に引き上げることとしました。
- 歯科大学大学院では、テーシス形式の論文の質の向上について検討を開始したほか、本学研修歯科医に臨床セミナーの実施や「大学院入学ガイド」の配布により大学院進学を推進しました。
- 看護大学では、実践力が向上するような教育のつながりを検討するため、看護系全科目のシラバスに対して、シラバスチェック表を作成し、講師以上の教員で相互チェックを行いました。また、令和3年度の大学院開設に向け、看護大学紀要「看護と口腔医療」に論文20編を掲載するなど研究業績を積み上げ、文部科学省へ大学院設置認可申請書を提出しました。
- 短期大学では、歯科衛生学科において、臨床・臨地実習を充実させるため、学内診療施設に加え、開業歯科医院での学外実習を開始しました。また、保健福祉学科において、医療的ケア教育の充実のため、実地研修評価に合格した8名に対し「喀痰吸引等研修修了証」を交付しました。専攻科では、23名全員が大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を取得しました。なお、保健福祉学科について、令和2年度以降の学生募集停止を文部科学省に届出しました。
- 「第113回歯科医師国家試験」は、形成試験を導入し、基準点に達するまで何回も試験を行い、知識の定着促進を図ったほか、卒業試験・再試験問題のブラッシュアップ等様々な対策を講じ、新卒44名が合格しました。短期大学の「第29回歯科衛生士国家試験」は51名が合格し、「第32回介護福祉士国家試験」は10名全員が合格しました。

### 3. 研究の活性化について

- 平成29年度に歯科大学、短期大学ともに採択された「私立大学研究ブランディング事業」(文部科学省選定)において、研究成果発表会等を実施しました。なお、本事業は令和3年度までの事業計画でしたが、文部科学省からの通知により今年度をもって支援終了となりました。
- 再生医学研究センターでは、「私立大学研究ブランディング事業」の組織再生チームとして、「幹細胞スフェロイドでの骨分化およびセメント質分法法の確立」の研究を実施したほか、実績として所属の大学院生2名が学位取得、学会報告5報、インパクトファクターのある英文雑誌に5報掲載しました。また、リサーチ・スチューデント(学部学生)が1名研究を行いました。なお、本センターは、下述のセンターに統合され、令和2年3月に廃止となりました。
- 10月に「福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学口腔医学研究センター」を開設し、ブランディング強化を図るため、「常態系」、「病態

系」、「再生系」、「臨床歯学系」、「医学系」の5つの口腔医学プラットフォームを構築、「口腔医学」のコンセプトに基づいた共通目標のもと、独自の先駆的研究や相互の連携研究への取り組みを開始しました。

- 看護大学では、口腔ケアに特化した看護系書籍「看護で教える最新口腔ケア」を上梓しました。
- 研究業績として、専任教員の総論文数(著書、総説、原著論文、症例報告等)は、歯科大学は、前年度185編が127編(うち欧文71編)に、看護大学は、前年度67編が72編(うち欧文4編)、短期大学は、前年度14編が13編(うち欧文2編)になりました。

### 4. 学生の支援等について

- 歯科大学では、低学年教育やCBT試験等の学年固有の課題解決のため助言教員FDを開催するとともに、今年度初めて保護者に対して助言教員等が大学の取り組みや修学状況等を説明する「学年説明会及び個別面談」を実施し、保護者より高い評価を得ました。
- 看護大学では、チューター教員による定期面談、成績不振学生等には保護者を交えた三者面談を繰り返し実施して細かい学生指導を行ったほか、学生の就職への意識高揚のため、就職合同説明会を実施しました。また、実習準備室、売店を増築棟に移設し、空きスペースを看護実習室、学生ラウンジに変更して教育環境をより充実させました。
- 短期大学では、実習の予習復習に活用できるe-learning教材を蓄積し、学生の課外学修を支援したほか、就職へのモチベーションアップのため、開業歯科医院等に参加を依頼し、就職ガイダンスを開催しました。
- 歯科大学、看護大学、短期大学が文部科学省の実施する高等教育の修学支援制度(高等教育の無償化)の対象校として選定されました。
- 令和2年度入学者数は、歯科大学口腔歯学部88名、大学院15名、看護大学看護学部107名、短期大学歯科衛生学科47名、専攻科23名でした。

### 5. 社会との連携・貢献について

- 地域連携センターでは、公開講座、出前講座、地域カフェ、生涯研修等を開催したほか、「福岡未来創造プラットフォーム」において、野芥校区子ども食堂事業への学生の派遣、リカレント教育プログラム「子どもの貧困を科学する」の企画実施などに参画しました。
- 医科歯科総合病院では、医科23科、歯科4科、訪問歯科センター及び内視鏡センター等が協働で地域医療の充実に貢献するとともに、摂食嚥下・言語センター(ことばと飲み込みのケアセンター)を設置し、医科・歯科が連携して専門的医療を開始しました。外来患者数は1日平均759.8人、入院患者数は30.1人でした。
- 口腔医療センターは、臨床研修歯科医、臨床実習生等を受け入れ、実習・研修施設としての役割を果たすと同時に、歯科大学、センター主催の生涯研修等を開催しました。年間患者数は28,505人、1日平均患者数は111.1人でした。
- 介護老人保健施設は、教育施設として介護福祉実習、口腔介護実習等で延べ1,207人の実習生を受け入れました。入所者数は1日平均76.1人、通所利用者数は1日平均27.3人となりました。なお、特定処遇改善手当を新設し、介護職員の処遇改善を行いました。
- 新病院建替えについては、平成31年1月の起工式から本工事を開始するとともに、令和2年9月の開院に向け、設備等に関するヒアリングの実施、医療機器及び什器備品等の現況調査、更新精査を行ったほか、医療情報システムに関するWG等による検討を行いました。
- 国際交流については、歯科大学は、リバプール大学(イギリス)と相互交流を実施したほか、プリティッシュコロンビア大学(カナダ)とは再度協定を締結し、今後の相互交流内容を確認しました。また、中国、韓国の各協定大学からの受け入れを継続実施しました。看護大学は、リバプール大学との協定締結に向け協議を行い、令和2年後期以降での派遣を実施する予定にしています。

### 6. 組織運営及び財務強化・施設整備について

- 病院の将来的な構想を踏まえ、訪問歯科センターを総合歯科学講座の1分野として教員を配置しました。
- 外部資金導入として、文部科学省から研究ブランディング事業、改革総合支援事業選定などに係る補助金として約9,120万円を受け入れました。
- 内部質保証の方針、体制及び手続きを福岡歯科大学の各種方針等として制定しました。
- 令和2年4月から施行される私立学校法の改正に対応するため、役員の責任の明確化、監事機能の強化等を盛り込んだ寄附行為の変更申請を行い、文部科学省より認可されました。

## 令和元年度(第48期)決算

令和元年度(第48期)の資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び財産目録の概要は次のとおりです。

### ○資金収支計算書

■資金収支計算書総括表(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部	科目	元年度予算	元年度決算	予算との差異	30年度決算	前年度決算との
		①	②	(①-②)	③	差異(②-③)
1	学生生徒等納付金収入	3,416,830	3,354,585	△62,245	3,370,866	△16,281
2	手数料収入	30,158	32,303	△2,145	32,779	△476
3	寄付金収入	107,400	82,524	24,876	302,164	△219,640
4	補助金収入	475,000	451,132	23,868	599,345	△118,213
5	資産売却収入	0	919,365	△919,365	1,090,555	△171,190
6	付随事業・収益事業収入	477,300	510,373	△33,073	516,128	△5,755
7	医療収入	1,855,000	2,013,107	△158,107	1,890,607	122,500
8	受取利息・配当金収入	632,280	632,595	△315	634,307	△1,712
9	雑収入	207,910	191,277	16,633	204,202	△12,925
10	借入金等収入	3,700,000	3,400,000	300,000	3,000,000	400,000
11	前年度繰越収入	456,850	518,713	△61,863	533,428	△14,715
12	その他の収入	1,781,954	3,242,161	△1,460,197	10,095,340	△6,853,179
13	資金収支調整勘定	△840,200	△1,014,098	173,898	△1,055,882	41,784
[A]	当年度収入合計	(12,300,492)	(14,334,037)	(△2,033,545)	(21,183,839)	(△6,849,802)
[B]	前年度繰越支払資金収入の部合計	868,590	1,334,720	776,134	776,134	0
	収入の部合計	13,169,082	15,668,757	△2,499,675	21,959,973	△6,291,216
支出の部	科目	元年度予算	元年度決算	予算との差異	30年度決算	前年度決算との
		①	②	(①-②)	③	差異(②-③)
1	人件費支出	4,456,142	4,365,378	90,764	4,297,610	67,768
2	教育研究経費支出	1,611,608	1,656,440	△44,832	1,686,472	△30,032
3	管理経費支出	362,524	361,143	1,381	346,418	14,725
4	借入金等返済支出	12,300	12,025	275	0	12,025
5	借入金等返済支出	0	0	0	0	0
6	施設関係支出	3,904,972	3,833,751	71,221	4,138,161	△304,410
7	設備関係支出	179,493	193,745	△14,252	114,772	78,973
8	資産運用支出	1,994,264	4,501,953	△2,507,689	9,942,757	△5,440,804
9	その他の支出	373,388	435,827	△62,439	518,398	△82,571
10	[予備費]	(263,913)	(263,913)	0	0	0
11	資金支出調整勘定	△375,000	△465,095	90,095	△419,335	△45,760
[C]	当年度支出合計	(12,555,778)	(14,895,167)	(△2,339,389)	(20,625,253)	(△5,730,086)
[D]	前年度繰越支払資金支出の部合計	613,304	773,590	△160,286	1,334,720	△561,130
	支出の部合計	13,169,082	15,668,757	△2,499,675	21,959,973	△6,291,216

■今年度決算の主な内容は次のとおりです。\*( )は前年度差異

【収入の部】	
1 学生生徒等納付金収入(1,600万円減)	看護大学(開学3年目)の在籍学生数の増により1億5,200万円の増加となりましたが、歯科大学、短期大学の学生数の減により1,600万円の減少となりました。
4 補助金収入(1億1,800万円減)	私立大学等経常費補助金、大学教育再生加速プログラム補助金の減少により1億1,800万円の減となりました。
7 医療収入(1億2,300万円増)	病院医療収入の増により1億2,300万円の増加となりました。
10 借入金等収入(4億円増)	病院建設工事の支払に係る西日本シティ銀行からの借入金。
【支出の部】	
6 施設関係支出(3億円減)	病院建設工事費35億9,300万円、看護大学更衣室増築工事費1億7,900万円、看護大学改修工事費2,500万円などにより38億3,400万円となりました。
7 設備関係支出(7,900万円増)	私立学校施設整備費補助事業による「小児患者用ロボットによる口腔医学教育」装置の購入などにより1億9,400万円の増加となりました。

### ○貸借対照表

■貸借対照表総括表(令和2年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	67,650,288	63,431,177	4,219,111
有形固定資産	19,840,369	16,385,059	3,455,310
特定資産	44,815,944	44,713,991	101,953
その他の固定資産	2,993,975	2,332,127	661,848
流動資産	1,310,793	1,831,187	△520,394
資産の部合計[A]	68,961,081	65,262,364	3,698,717
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	7,505,384	4,290,229	3,215,155
流動負債	1,454,574	1,070,352	384,222
負債の部合計[B]	8,959,958	5,360,581	3,599,377
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	61,211,368	60,725,805	485,563
第1号基本金	27,058,924	26,675,314	383,610
第2号基本金	10,054,299	10,054,299	0
第3号基本金	23,584,145	23,576,192	7,953
第4号基本金	514,000	420,000	94,000
繰越収支差額	△1,210,245	△824,022	△386,223
純資産の部合計[C]	60,001,123	59,901,783	99,340
負債及び純資産の部合計	68,961,081	65,262,364	3,698,717

■前年度末との主な増減は次のとおりです。

【資産の部】	
有形固定資産は病院建設工事に係る資産の取得などにより34億5,500万円の増加となりました。	
【負債の部】	
固定負債は病院建設工事に係る借入金により32億1,500万円の増加となりました。	
【純資産の部】	
第1号基本金は看護大学更衣室増築工事費などを組入れたことにより3億8,400万円の増加となりました。	
第4号基本金は組み入れにより19,400万円の増加となりました。	

### ○事業活動収支計算書

■事業活動収支計算書総括表(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部	科目	元年度予算	元年度決算	予算との差異	30年度決算	前年度決算との
		①	②	(①-②)	③	差異(②-③)
事業活動収入の部	1 学生生徒等納付金	3,416,830	3,354,585	62,245	3,370,866	△16,281
	2 手数料	30,158	32,303	△2,145	32,779	△476
	3 寄付金	107,400	92,553	14,847	146,358	△53,805
	4 経常費等補助金	475,000	427,211	47,789	569,345	△142,134
	5 付随事業収入	477,300	510,373	△33,073	516,128	△5,755
	6 医療収入	1,855,000	2,013,107	△158,107	1,890,607	122,500
	7 雑収入	207,910	199,100	8,810	214,707	△5,607
	[A] 教育活動収入計	6,569,598	6,629,232	△59,634	6,740,790	△111,558
	11 人件費	4,456,142	4,365,378	90,764	4,297,610	67,768
	[B] 教育活動外収入計	2,122,780	2,247,591	△34,811	2,311,191	△63,600
支出の部	3 管理経費	405,214	403,470	1,744	388,209	15,261
	4 取収不能額等	0	840	△840	5,622	△4,782
	[C] 教育活動収支差額	7,077,252	7,182,795	△105,543	7,015,153	167,642
	[D] 教育活動外収支差額	△607,654	△563,563	45,909	△274,363	△279,200
	[E] 受取利息・配当金	632,280	632,595	△315	634,307	△1,712
	[F] 借入金等返済	0	0	0	0	0
	[G] 借入金等返済	0	0	0	0	0
	[H] 借入金等返済	0	0	0	0	0
	[I] 借入金等返済	0	0	0	0	0
	[J] 借入金等返済	0	0	0	0	0
[K] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[L] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[M] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[N] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[O] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[P] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[Q] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[R] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[S] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[T] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[U] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[V] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[W] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[X] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[Y] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[Z] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AA] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AB] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AC] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AD] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AE] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AF] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AG] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AH] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AI] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AJ] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AK] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AL] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AM] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AN] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AO] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AP] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AQ] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AR] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AS] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AT] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AU] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AV] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AW] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AX] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AY] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[AZ] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BA] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BB] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BC] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BD] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BE] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BF] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BG] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BH] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BI] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BJ] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BK] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BL] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BM] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BN] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BO] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BP] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BQ] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BR] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BS] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BT] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BU] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BV] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BW] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BX] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BY] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[BZ] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CA] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CB] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CC] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CD] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CE] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CF] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CG] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CH] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CI] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CJ] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CK] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CL] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CM] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CN] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CO] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CP] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CQ] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CR] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CS] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CT] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CU] 借入金等返済	0	0	0	0	0	
[CV] 借入金等返済	0	0	0</			